

〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	総合計画	2 節 7 項	効率的消防体制の確立
担当課・係名	総務課 消防係 【問合せ・質問等の先（内線番号）			4 4 6 番】

業務の名称	消防団事務事業																																							
(1)根拠法令・条例	消防組織法、長久手町消防団条例																																							
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>59</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>145</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)																																							
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>18,629</u> 千円 (平成18年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																							
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u> </u> % (平成18年度実績)																																							
(5)業務期間	開始した年度	昭和23年度	終了(予定)年度	年度																																				
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)																																								
業務目的(達成目標)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団の活性化を促す。 住民の防火意識の向上及び防災力の充実を促す。 																																							
業務が対象とする住民(地域・層)	消防団員																																							
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員新基準活動服の整備 火災予防運動期間中、年末特別警戒中における防火広報活動の計画及び立案 消防操法訓練、規律訓練及び機械器具取り扱い訓練の計画及び立案 独り暮らし老人家庭への防火点検の計画及び立案 																																							
業務の実施結果 (平成18年度実績)	消防団の活性化対策として新基準活動服を導入し、団員の意識の向上に努めた。防火広報等を通じて、住民への防火意識の向上に努めた。																																							
	【業務結果の説明指標】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度実績</th> <th>19年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>新基準活動服167着購入 2,559千円</td> <td>-</td> <td>167</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>火災予防広報(延べ人数)</td> <td>835</td> <td>817</td> <td>867</td> <td>867</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>各種訓練、教養(延べ人数)</td> <td>3,729</td> <td>3,331</td> <td>3,706</td> <td>3,706</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>独り暮らし老人家庭防火点検(延べ人数)</td> <td>40</td> <td>42</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度実績	19年度目標	将来目標	1	新基準活動服167着購入 2,559千円	-	167			2	火災予防広報(延べ人数)	835	817	867	867	3	各種訓練、教養(延べ人数)	3,729	3,331	3,706	3,706	4	独り暮らし老人家庭防火点検(延べ人数)	40	42	43	43	5				
結果の説明指標		17年度	18年度実績	19年度目標	将来目標																																			
1	新基準活動服167着購入 2,559千円	-	167																																					
2	火災予防広報(延べ人数)	835	817	867	867																																			
3	各種訓練、教養(延べ人数)	3,729	3,331	3,706	3,706																																			
4	独り暮らし老人家庭防火点検(延べ人数)	40	42	43	43																																			
5																																								
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	新基準活動服を導入したことで団員の意識の向上が図れた。防火広報等を通じて、防火意識の向上も図れた。																																							
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度実績</th> <th>18年度実績</th> <th>19年度目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>新基準活動服167着購入 2,559千円</td> <td></td> <td>167</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>火災予防広報(延べ人数)</td> <td></td> <td>817</td> <td>867</td> <td>867</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>各種訓練、教養(延べ人数)</td> <td></td> <td>3,331</td> <td>3,706</td> <td>3,706</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>独り暮らし老人家庭防火点検(延べ人数)</td> <td></td> <td>42</td> <td>43</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標	1	新基準活動服167着購入 2,559千円		167			2	火災予防広報(延べ人数)		817	867	867	3	各種訓練、教養(延べ人数)		3,331	3,706	3,706	4	独り暮らし老人家庭防火点検(延べ人数)		42	43	43	5				
成果の説明指標		17年度実績	18年度実績	19年度目標	将来目標																																			
1	新基準活動服167着購入 2,559千円		167																																					
2	火災予防広報(延べ人数)		817	867	867																																			
3	各種訓練、教養(延べ人数)		3,331	3,706	3,706																																			
4	独り暮らし老人家庭防火点検(延べ人数)		42	43	43																																			
5																																								

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
消防団員が年々減少傾向にあり、サラリーマン団員が多く町内在勤者が少ないことから、大規模時の対応が困難である。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
町内の各種イベントに消防団員が参加し、消防団加入を呼びかけたり、団員が各地区の家庭を訪問し加入を行っている。また、町広報紙等を活用し、入団記事の掲載を行っている。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3 点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） 4. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
評価理由	消防団員の意識向上は図れたが、住民への消防団活動の理解はあまり得られなかった。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
住民に対して、消防団という組織を理解してもらい少しでも多くの若者が消防団に魅力を感じ入団してもらうようPR活動を行っていくことが大切である。